

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175300367		
法人名	有限会社 浜本		
事業所名	グループホーム ひがしもこと		
所在地	北海道網走郡大空町東藻琴538番地の4		
自己評価作成日	平成26年11月23日	評価結果市町村受理日	平成27年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0175300367-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成26年12月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちの施設の周りには自然豊かな環境がたくさんあり静かに生活するには最高の土地です。大空町は農業に従事されている方が多く時期になると野菜を届けてくださり、季節を感じながら美味しいいただいております。
 現在、従事している職員が全女性にて、家庭的な雰囲気はもちろん、細かな配慮、女性ならではの心遣いにて支援させていただいております。
 入所者様、ご家族様、職員全員が笑顔のたえない事業所を目指しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<本人を共に支えあう家族との関係>
 家族と一緒に外出できるように話し合ったり、日常生活の様子や健康状態など報告しながら意向や要望を把握し、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。また、同一地域内の福祉施設関係者や民生委員・地域住民との意見交換や地域ケア会議で福祉のニーズへの対応等地域に密着した活動に取り組んでいる。
<継続したケアサービスの提供>
 職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、労働時間や職場環境・条件の整備に努め、職員の離職率は低く推移し、安定したケアサービスの提供を実践している。また、年間行事計画を立案し、クリスマス会等の催しや外気浴や散歩、盆踊りや町内会行事など戸外に出掛けられるよう職員間で協力しながら支援に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	皆が見れるように、理念を玄関や事務所、談話室に掲示し理念に沿ったサービスの実現に取り組んでいます。	事業所独自の理念をつくりあげ、申し送りやモニタリングを通じて話し合い、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内の福祉会からお誘いを受け、行事に参加させていただいています。	同一地域内の福祉施設関係者や民生委員・地域住民との意見交換や地域ケア会議で福祉のニーズへの対応等で地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の地域ケア会議に参加しており、意見交換をさせていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	役場職員、特別養護老人ホーム施設長、地域住民代表、民生委員、家族代表様にて2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しホームの状況、活動報告、防災等について意見交換をしています。	運営推進会議を2ヶ月毎に開催し、地域の福祉のニーズや利用状況など具体的内容について話し合い、そこでの意見や情報をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議にも毎月参加させていただいており、情報交換等、常に行政と連携を図りながらサービスの質の向上に努めている。	町担当者とは、日常業務を通じた助言や相談、地域ケア会議での情報交換で協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしないケアに努めています。玄関に施錠しない時間を設け実施している。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を内部研修会実施で正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止マニュアルを整備し、虐待しない取り組みをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、入居者の方で必要な方はいないが、成年後見制度についてファイルし、職員で情報共有している。今後、必要性のある方については、役場に相談する等、活用出来るように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、重要事項説明書にて十分な説明を行い、入居者様、契約者様からの疑問、不安な点に対しては、十分に説明し、理解・同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や電話連絡、事業所便りにて、利用者様の日常の様子をお伝えし、ご家族様の希望や要望等もお聞かせいただくことにより、より良い関係を築くように努めています。	本人・家族、来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の受付袋を設置している。また、苦情等の第三者機関への申し出先を明示している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人の役員と管理者は、常に職員と何でも話し合える関係が構築されています。意見や提案が言いやすく、常に職員と話し合いながら改善策に取り組んでいます。	モニタリング等を通じて、職員の意見や提案を運営に反映する機会を設け、職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、職場環境の整備に努め、職員の離職率は低く推移し、安定したケアサービスの提供を実践している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準に現在ついて、見直し中		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や外部研修への参加が少ないのが現状であります。今後スキルアップのためにも研修への参加する機会を持てるように検討していく方針です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者及びケアマネは定期的に町内ケア会議に参加しており、意見交換や情報の共有に努めている。職員の中に民生委員として活動している方がいるため、管理者は定例会議の情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様と面談を実施し、困っていること、不安、要望等を十分にお聞かせいただき、安心して暮らしていただけるような、サービスの提供を行うことで、良い関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護計画作成に当たり、ご家族様の要望等を伺い作成している。又、家族の思いを察し話しやすい環境づくりと信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時、必要な支援を見極め、利用者様ご家族様と支援内容を検討し介護計画を立て実施している。訪問理容や往診についてはご家族様と相談の上、必要に応じ取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの力に応じた作業を一緒に行うことで暮らしを共にするもの同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員で本人を支えるだけでなく、家族にも出来るだけご協力して頂き、共に本人を支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力を得て面会や外出の依頼をし、関係が途切れないよう取り組んでいます。友人が訪ねて来た際には快く迎え、いつでも尋ねて来れるよう配慮しています。	町内散歩や外気浴、買い物や地域の盆踊り等の行事参加などで馴染みの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格や、感情の変化を理解した上で、利用者同士が関わり、支え合える関係が持てるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、自由に訪問や連絡が取れるような体制を取っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、一緒に生活する中で表情や行動を見逃さず思いを汲み取るよう努めています。	アセスメントの実施や生活歴を把握しながら一人ひとりの思い・暮らし方の希望、意向を把握し、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にキーパーソンとなる家族から生活歴を伺う事意外にホームで暮らしている中で知り得た情報を記録に残し、職員全員で共有し活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に入居者様の状況を確認し、生活記録、申し送りノートを用い情報共有し、計画に反映させ、日々の暮らしの中から、有する能力等の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族から希望を聞きながら介護計画を作成しています。職員からの意見を聞きモニタリングや評価、見直しを行い、新たな介護計画作成後は全職員に見てもらっています。サービス担当者会議の開催は随時行っています。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族の意見や意向、カンファレンスやモニタリングを通じて職員の意見を反映し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入の他に申し送りでの情報共有をし実践の見直しや、計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護師、往診医などに対応策を相談すると共に利用者様やご家族様の希望がある際は、ニーズに合わせた対応が出来るように心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	特別養護老人ホームよりお声掛け頂き、盆踊りや行事の参加をさせていただいています。消防の協力をいただき避難訓練を実施し安全に生活できるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を重視し、家族の協力を得ながら適切な医療が受けられるように支援している。	医師の往診や受診支援、訪問看護師との連携等で適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師等には、日々の心身の状態や情報、気づきを伝え、指示を受けながら、利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 24時間電話対応可能であり、アドバイスや相談をさせていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様が入院した際は、問合せや協力依頼があった場合、速やかに対応できるように努めています。安心して治療出来るよう、詳細な情報提供を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合の対応について説明し、ご理解いただいている。事業所のできる対応の範囲を伝えて、できるだけ早い段階で対応できるように支援している。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルに添って迅速な対応に努めている。緊急搬送のときには消防隊との情報共有が迅速にできるように入居者情報表を作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練を実施し、地域住民の参加もいただいています。	地域住民の参加や消防署の協力を得て年2回火災避難訓練を実施している。また、スプリンクラーや火災報知器、通報装置等の設備を完備し、定期点検も実施している。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳を尊重した言葉掛けや対応に心掛けて実践している。 パット類は、名前が特定されない様、インシヤルで明記している。	不適切なケアについて内部研修会や自己評価の機会を設けて、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように職員間で周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望で自己決定に結びつけている。入浴やレクリエーションの参加も本人の希望を聞いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の意向を優先し、利用者様のペースで生活していただけるように対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみや、おしゃれができるようその人の力に応じた支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳や食器拭きなど利用者の出来る事を一緒にしています。職員も同じ席に着き会話を楽しみながら食事を取っています。	一人ひとりの好みや力を把握し、毎日の調理や食事の準備等職員と一緒に楽しんで行えるよう検討している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した献立作りを心掛けており、食事量や水分量を個々に記録している。食事量の低下がある方については医師へ相談し代替品などで支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じた、口腔ケアの支援を毎食後行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を記録して、その人の排泄パターンを確認しながら誘導や声掛けをしています。	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握し、トイレで排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く取り入れた食事を心がけたり、余暇活動にて体操・館内歩行運動をし便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴とし、一人ずつゆったりと入浴できるよう介助しています。入浴拒否の方には声掛けや曜日を変更するなど対応し、楽しんで入浴して頂けるよう、入浴剤を使用するなど工夫をしています。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて週2回を目安に入浴支援をしている。また、入浴拒否の強い本人にも個々に沿った柔軟な支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者様の体調の変化に合わせ、自室での休息や臥床を促している。その際、経過観察や食事時には声掛けをし伝えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用薬をいつでも確認出来るようファイルにし、その人の力に応じた服用支援を行い、症状の変化の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いや喜びのある生活が送れるようにその人の力に応じた役割を担ってもらったり、個々の希望に添った気分転換にも対応出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴、散歩など日常的な外出や、町内の行事に参加しています。	年間行事計画を立案し、クリスマス会等の催しや外気浴や散歩、盆踊りや町内会行事など戸外に出かけられるよう職員間で協力しながら支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族、本人と相談し、お金の所持についてはその都度適切に対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて電話の取次ぎや手紙のやりとりが出来るように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングから見える景色は四季を感じさせてくれます。館内には行事の際の写真や飾り、折り紙での作品などを置き、暖かい雰囲気が作られています。	1ユニット(定員9名)のアットホームなグループホームで季節感や生活感を採り入れながら季節毎の飾りつけや行事参加の写真の掲示などで本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が一人になれたり、家族や他利用者様と話せるスペースを設けています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはクローゼットが完備されており、利便性の良い空間で、家族の写真やベッド等、使い慣れた馴染みの物が持ち込まれ、安心して過ごして頂けるよう工夫しています。	居室には、使い慣れた家具や寝具が持ち込まれたり、家族の写真が飾られるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	時計やカレンダーを目につきやすい場所へ設置、廊下やトイレに手すりを完備し自立した生活が送れるように支援しています。状態に応じてセンサーマットを利用して安全を補強しています。		

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	内部研修を増やす。 各研修は実施されているが実際に職員の外部研修への参加が出来ていないのが現状にあるため、今後スキルアップのためにも参加できるようにしていきたい。	内部研修を豊富にし、チームケアの底上げに繋げたい。 各スタッフが積極的に研修に参加し、自らのスキルアップに繋がるようにしたい。	研修情報だけでなく、各職員は情報を得たことを他職員にも情報提供していく。	12ヶ月
2	48	年間を通しての行事の見直しをする。 (生活の中の活動が少ない為)	利用者様、個々に情報収集をし、その方にあった楽しみごとを増やせるようにしていきたい。	全職員にアイデアを提供していただき、一つでも多く内容を豊富になるよう取り組む。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。